香川県内大学・高専連携産業人材育成システム

「２１世紀源内ものづくり塾」

　平成３０年度　募集要項

（この事業は、香川県の委託事業であり、県の30年度当初予算案

成立を前提としており、変更になる場合があります。）

平成３０年３月

香川県・香川大学

1. 募集の趣旨

香川県産業成長戦略（25年度策定）に基づく地域産業人材創出支援事業の一環として、単に技術がわかるだけでなく、マーケティングやビジネスプラン等ビジネスセンスも身に付け、「売れるものづくり」が企画・開発できる若手リーダーを育成するため、県委託事業として、県内の大学・香川高専連携による人材育成システム「21世紀源内ものづくり塾（以下、源内塾）」の平成30年度生（第11期生）を募集します。

なお、受講料は無料ですが、塾生別の個人指導による問題解決型プログラムのため、募集枠（８名程度）があります。

1. 育成の概要

香川の企業では、例えば、「自前で高度なスキルや経営感覚を持った人材を育成したいところだが、資金や時間面でその余裕がない」と言った声を耳にします。

源内塾では、このような香川の企業が抱えている悩みに応えるため、ものづくりを通じて顧客満足や価値創造が出来、ものづくりを革新・リードする企業の中核人材を育成します。

まず、応募できる方は、香川県内の企業や事業所で、研究開発に伴う新製品開発や付加価値向上を目指す人、生産現場の合理化・効率化を図りたい人、後継者として技術だけでなくものづくりの経営センスを備えたい人、ベンチャーとして新事業に挑戦する人、イノベーションの原動力となる人などものづくりに意欲的に取り組んでいる方であれば、企業の業種や規模、応募者個人の経験・立場等は特に問いません。

次に、育成については、「香川地域で必要な人材は、自前で育成すること」を基本に、香川大学を全体調整機関として、香川高専、徳島文理大学香川校、県立保健医療大学と言った香川県内の大学と高専（大学等）が連携し、香川の知の総力を結集して育成します。

具体的には、20年10月開設した源内塾の「座学」、「課題研究」、「技術経営」と言った3つの課程による2年間のプログラムです。まず、座学では、集合教育を通じものづくり人脈を形成し、次に、塾生の業務都合に応じた自由な時間に、マンツーマン方式で大学教員の指導を受ける課題研究に取り組み、さらに、少人数のゼミ形式でディスカッションにより相互研鑽しながらビジネスプランを作成する技術経営と言った多彩な育成方法により、問題解決能力やコミュニケーション能力を養成します。

そして、2年間の受講課程を修了して、所定の審査に合格すれば、「ものづくりマイスター」の称号を付与します。

なお、修了後は、企業で、そして地域で一層活躍していただくため、技術セミナーへの参加等定期的にフォローアップします。また、塾生間で強固な絆を形成するため、源内塾OB会に入会し、同期生を中心に同窓会ネットワークを形成し、これを通じ香川の活性化にも貢献していただきたいと考えています。

1. 育成する人材像

工学、生命科学、食品科学等の先端技術を理解し、「売れるものづくり」が企画・開発できる高度技術者（イノベーション、ベンチャー等を含めたものづくり関係全般）

1. 経緯と育成内容

平賀源内を輩出した香川には、オンリーワン、ナンバーワンと言われるものづくり企業が少なくありません。しかし、今日のグローバル競争を勝ち抜くためには、自らのコア技術を育て、磨いて、付加価値向上を図り、革新して行くことが何より求められます。

このような中で、香川大学では、プロジェクト方式により開発を推進するだけでなく、企業技術者を大学に派遣し、大学教員から個別に指導を受けながら開発を推進する、「マンツーマン指導方式」を導入したところ、開発が円滑に進み、同時に技術者のものづくりセンスが著しく向上し、人材育成する効果がありました。

この結果を踏まえ、付加価値が高いものづくり技術を習得させながら、香川における多様なものづくり企業が抱える様々なニーズに対応できる育成システムを目指し、育成プログラムを開発してきました。

その結果、育成期間２年間で、次のような座学、課題研究、技術経営と言った3つの課程を効果的に組み合わせることで、業種や分野が異なる多様な塾生ニーズに的確に対応しながら、単にものづくりだけでなく、ものづくりを通じて顧客満足の獲得や価値創造が出来る人材育成システムを構築しました。

1. 座学

「座学（約半年間）」では、先端工学分野について理解を深めます。売れるものづくりのためには、先端技術の使われ方やシステム化の手法等について幅広く知ることが求められており、座学を通じ幅広い知識、広い視野を植え付けます。

②課題研究

座学に引き続き実施する「課題研究（約1年半）」では、塾生が自由にテーマを設定して、マイペースで取り組んでいただきます。塾生自らが抱えている業務上の身近な問題や長年の懸案事項等をテーマに設定し、これを指導教員の指導を定期的に受けながらテーマ解決を目指して取り組み、問題解決能力やコミュニケーション能力を養います。

③ＭＯＴ（技術経営）

「ＭＯＴ（技術経営）」では、経営がわかる技術者を目指し、個別指導の機会を十分に取りながらビジネスマインドを磨きます。マーケティング基礎等座学に加え、課題研究に関係したテーマでビジネスプランを作成し、少人数のゼミ形式によりブラシュアップを重ね、より良いプランに仕上げ、修了発表会で発表します。

なお、源内塾では、塾生派遣元企業の秘密について守秘できるシステムになっていますが、座学等育成する場は、原則、「オープン・イノベーション」により運営します。

その他、受講期間が終われば縁が切れるのでなく、修了後のフォローアップについてもご協力ください。修了後について、継続的な自己研鑽を促すため、修了生による地域ネットワーク（源内塾OB会）に参加していただきます。地域に開かれた強固なネットワークを形成することにより、地域全体として技術力の向上を目指し、また、個別企業においては研究開発と人材育成の好循環を形成させ、これらを通じ地域の活性化や産業振興へ貢献ができるものと考えています。

1. 対象者

　　香川県内のものづくり企業に勤めている社会人（役員も可）で、平成３２年３月まで在籍可能な方で、応募にあたり、原則、会社代表者から推薦を受けられる方。

（学歴等は関係ありませんが、育成に伴う連絡のため、塾生専用のメールを設定していただける方。）

1. 募集人数

８名程度

７．募集期間

　　　平成３０年４月２日（月）～１３日（金）１２時必着

　　　ただし、募集開始後、応募者が１０名を超える場合、その時点で募集を締め切ります。この場合、ホームページにより周知します。

８．応募書類

　　　①入塾申請書　（別紙のもの、氏名の欄は、必ず自書してください。）

　　　②履歴書　　　（様式は自由で学歴、職歴がわかるもの。写真添付の必要はありません。）

９．応募書類の提出方法

　　　応募書類一式を、以下の宛先に、郵送（必着）するか、又は持参してください。

|  |
| --- |
| 〒７６１－０３９６　香川県高松市林町２２１７－２０　香川大学　社会連携･知的財産センター　源内塾事務局 |

１０．選考方法と日程

　　　選考は、書類審査を行い、面接により内定します。最終は、県の所定の審査により決定します。

書類審査と面接の日程は、以下の予定です。（応募者には、詳細を別途通知します。）

1. 書類審査の結果　　　平成３０年４月１３日（金）（午後）

　　　　　　　　　　　　　　　応募者全員に、メールで面接の要否を含め通知。

1. 面接日と時間　　　　平成３０年４月１８日（水）（午後）

面接場所　　　　香川大学　社会連携・知的財産センター　1Ｆ技術相談室

　　　　　　　（香川県高松市林町２２１７－２０）

1. 最終選考　　　　　　 平成３０年５月初旬頃

１１．受講期間

　　　　　平成３０年５月～平成３２年３月

１２．受講日と時間帯

1. 座学・・・・・・・月に３～４日間程度（原則、第１・３金曜日と第１土曜日）。

（５月～11月）　　（ただし、８月、９月は、夏休み。）

1. 課題研究・・・・・原則、毎月１回の指導日時を担当する指導教員と調整して決め、

（12月～翌々年３月)指導教員の指導を受け、テーマの解決を目指します。

1. ＭＯＴ・・・・・・座学関係（５月～11月）・・・・延べ４日程度（原則、第３土曜日）

　　　　　　　　　 　　　課題研究期間中の個別指導等・・・６日間程度（セミナー等を含む。）

１３．受講場所

　　　座学・・・・・・・・・・・・・・・香川大学社会連携・知的財産センター

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（香川県高松市林町２２１７－２０）

　　　課題研究・・・・・・・・・・・・ 指導教員が指定した場所

　　　ＭＯＴ・・・・・・・・・・・・・ 香川大学社会連携・知的財産センター

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（香川県高松市林町２２１７－２０）

１４．受講料

　　　無料

ただし、課題研究の実施に伴う開発材料等の費用、企業見学旅費等塾生の個人的な費用は、各自負担になります。

１５．修了要件の概要（詳細は入塾後の塾生便覧で周知。）

　　　①　座学関係・・・・出席率　70%以上。

②　課題研究・・・・自らの課題をコンセプト化して、開発テーマが設定できること。

そのテーマで開発に約1.5年取り組む。さらに、課題研究テーマに

関連して公的資金獲得のための提案書作成ができること。

③　MOT関係・・・・・課題研究で取り組むテーマに関係した製品等ビジネスを想定し、そのビジネスプランを作成し、修了発表会で発表すること。

１６．詳しいお問い合わせ先

　　　香川大学　社会連携･知的財産センター

　　　 ＴＥＬ／ＦＡＸ　０８７－８６４－２５２９

E-mail gennaijuku@eng.kagawa-u.ac.jp

１７.その他

（個人情報の取り扱い）

　　　提出された応募に関する書類は、源内塾の運営以外の目的には使用しません。

※座学カリキュラム等詳細は、２１世紀源内ものづくり塾専用ホームページをご覧ください。

ホームページＵＲＬ　<http://www.kagawa-u.ac.jp/kenkyu/gennai/>

以　上

香川大学　社会連携･知的財産センター

　　　センター長　合谷　祥一　様

２１世紀源内ものづくり塾

第１１期塾生　入塾申請書

私は、香川大学において実施する「２１世紀源内ものづくり塾」の趣旨に賛同し、売れるものづくりが企画・開発できる若手リーダーを目指し、平成３２年３月まで塾生として、座学では、先端分野の講義・実習を理解度もチェックしながら積極的に受講し、また、課題研究では、自らテーマ設定した課題に真摯に取り組み、問題解決能力やコミュニケーション能力の向上に努め、さらに、技術経営では、売れるものづくりのビジネスプラン作成に積極的にチャレンジします。また、修了後も、フォローアップに積極的に参加して自己研鑽に励むことを誓い、以下のとおり申請します。

申請日:平成　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| （フリガナ）氏　　名 | ※必ず自筆　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 生年月日 | 昭和・平成　　　　年　　　月　　　日（　　　　才） |
| 会社名 |  |
| 所属・役職 | 所属役職 |
| 会社総括責任者（推薦者、原則代表者） | 氏名　　　　　　　　　　　役職 |
| 業務管理責任者（課長クラス以上） | 氏名　　　　　　　　　　　役職 |
| 連絡先 | 会社住所　 | 〒 |
| 会社電話 |  |
| 携帯 |  |
| メールアドレス |  |
| 担当業務や源内塾に期待すること（簡潔に） |  |

（注）①この申請書に加え、学歴と職歴が判る履歴書（様式自由、顔写真不要）を必ず添付ください。

②この申請書は、抜けがないよう全項目を記載してください。

③氏名の欄は、必ず自筆してください。

履歴書

 　　　　　　　　　　　　　　　　　平成　　　年　　　月　　　日現在

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ふりがな |  |  |
| 氏　　名 |  |  |
| 昭　和　年　　　月　　　日生平　成 | 男・女 |  |
|  |  |
| 年 | 月 | 学歴・職歴・資格等（項目別にまとめて書く） |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |